

令和4事業年度 決算の概要

目次

◆ 令和4事業年度 決算の概要.....	1
◆ 通行台数・料金収入・供用延長の推移.....	2
◆ 会計処理の特徴	3
◆ 償還準備金積立方式の仕組み	4
◆ 令和4事業年度 損益計算書	5
◆ 令和4事業年度 貸借対照表	6
◆ 借入金残高の推移	7
◆ 計画との比較	8
◆ 令和4年事業度 キャッシュフロー計算書	9



令和4事業年度決算の概要

- ① 令和4事業年度は、日平均通行台数が69,626台で、前事業年度から7.6%の増となりました。ピークである令和元事業年度との比較では、96%まで回復しています。料金収入は121.9億円で、前事業年度から9.2億円（8.1%）の増となりました。
※1
- ② 費用面では、中期経営計画に基づき着実な設備更新に取り組む中で、事業資産管理費は50.5億円で、前事業年度から4.1億円（7.6%）の減となりました。
- ③ 収支差益による償還準備金及び償還準備積立金への繰入額は、通行台数の回復による収入増と費用減を反映し、59.8億円と、前事業年度から14.3億円（31.4%）の増となりました。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の影響による減収の計画への影響について、令和4事業年度の決算を踏まえた現時点の見通しでは、計画に定めた償還期間（40年以内）に償還を行うことが可能です。
- ⑤ 引き続き、高速5号線の整備促進及び早期供用に努めること、道路管理における予防保全対策の推進によりトータルコストの縮減を図ること、供用路線の利用促進に一層努めることなどにより、収支差益の確保を図ってまいります。



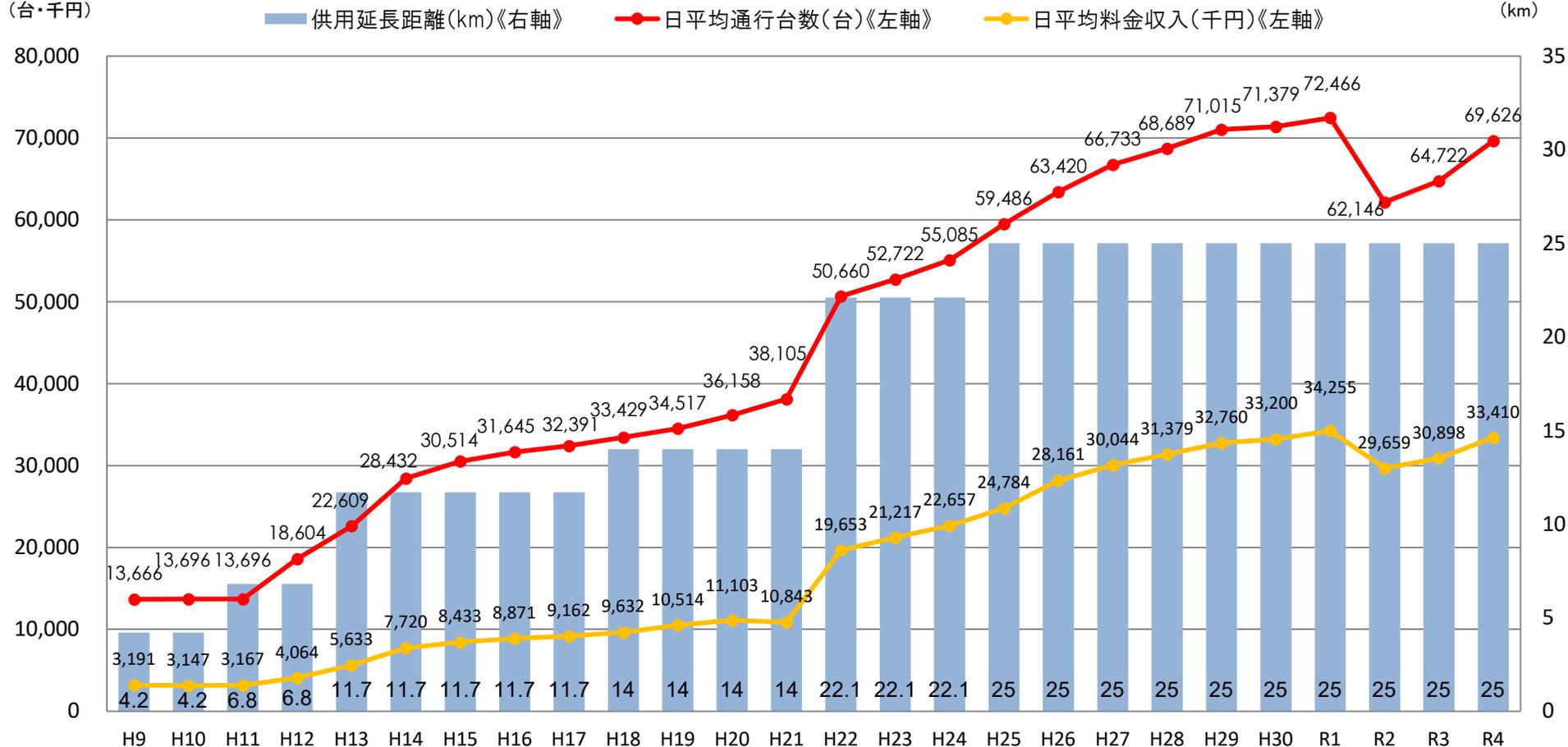
※1 道路料金収入には、ETCマイレージ還元負担金等を含みます。
※2 増減率は百万円単位の端数処理後の値で算出しています。(P6 損益計算書を参照。)

通行台数・料金収入の推移

令和4事業年度(4月～3月) 日平均通行台数 69,626台(7.6%増※)、日平均料金収入 33,410千円(8.1%増※)

日平均通行台数・料金収入
(台・千円)

供用延長距離
(km)



※ 前年度の日平均と比較した場合



会計処理の特徴

原則

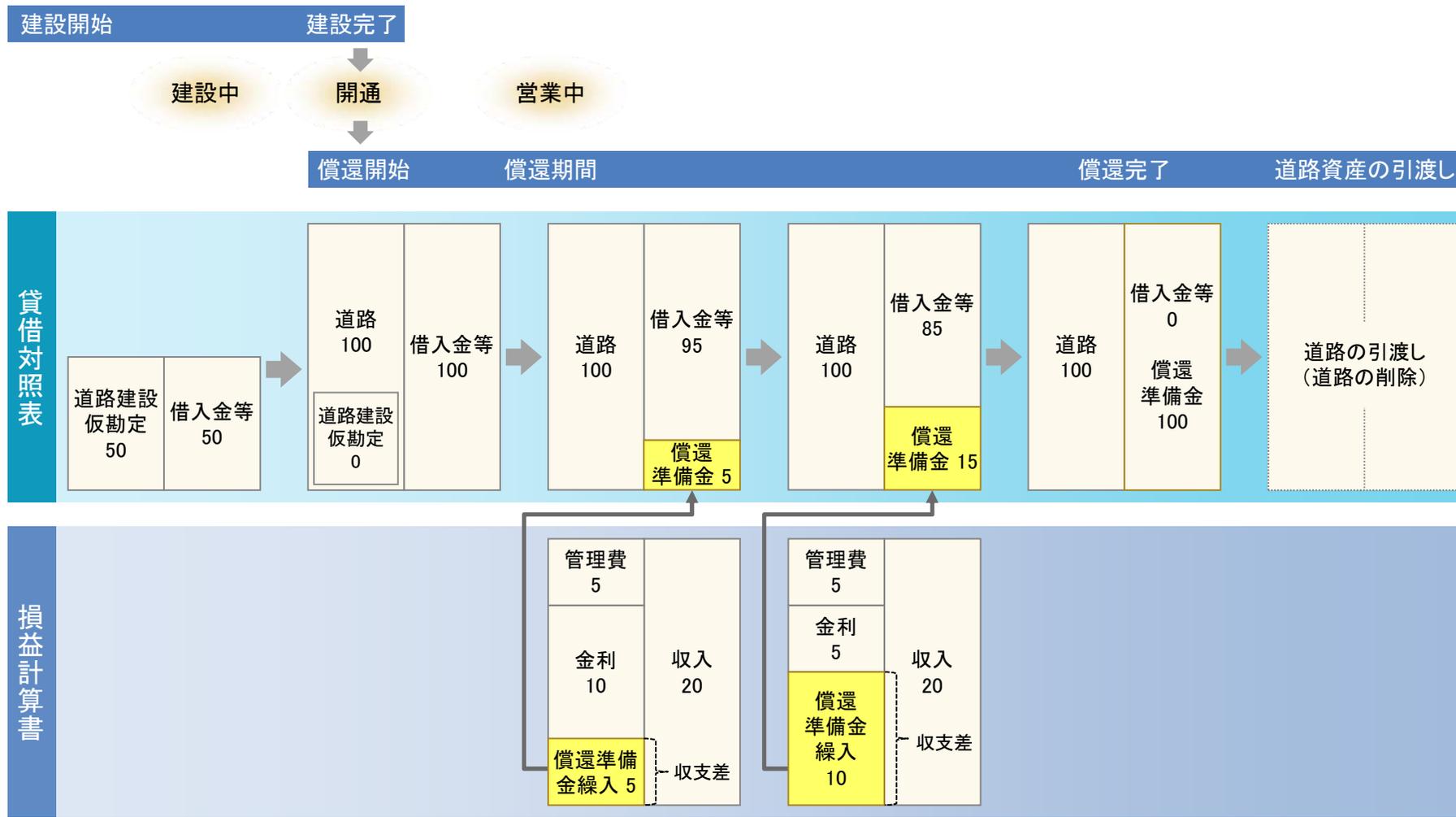
- 当会社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理(発生主義・複式簿記)を行っています。

特徴

- 広島高速道路の整備については、出資金・借入金で建設を行い、お客様から頂いた料金収入で借入金等を一定の期間内に償還する有料道路制度を活用しています。償還完了後の道路は、本来の道路管理者に引き渡します。
- 有料道路制度においては、借入金等の償還状況を会計処理において適切に把握することが重要で、「道路」への投下資金とその償還額を毎期明らかにするため、固定資産のうち「道路」については企業会計において一般的に採用されている減価償却費を計上していません。
- 料金収入等の収益と、管理費や利息等の費用との差は、「償還準備金繰入」として費用に計上し、借入金の償還のための「償還準備金」として貸借対照表の負債の部に計上されます。
- これにより、貸借対照表上で、資産の部に計上される「道路」と負債の部に計上される「償還準備金」とを対比することで、借入金の償還状況がわかりやすい仕組みになっています。



有料道路制度の会計処理(償還準備金積立方式)



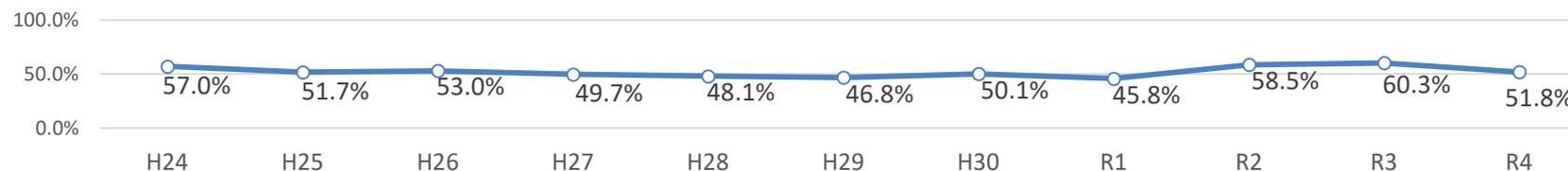
令和4事業年度 損益計算書

(単位:百万円)

費用の部				
勘定科目	金額			増減率 (%)
	令和4事業年度	令和3事業年度	差額	
事業資産管理費	5,045	5,458	△413	△7.6
一般管理費	389	398	△9	△2.0
業務外費用	937	1,014	△77	△7.6
受託業務費	251	331	△80	△24.2
小計	6,622	7,201	△579	△8.0
引当金等繰入	5,981	4,553	1,428	31.4
償還準備金繰入	5,930	4,525	1,405	31.0
償還準備積立金繰入	51	28	23	82.1
合計	12,603	11,754	849	7.2

収益の部				
勘定科目	金額			増減率 (%)
	令和4事業年度	令和3事業年度	差額	
業務収入	12,290	11,371	919	8.1
道路料金収入	12,195	11,277	918	8.1
業務雑収入	95	94	1	1.1
受託業務収入	251	331	△80	△24.2
業務外収入	62	52	10	19.2
合計	12,603	11,754	849	7.2

○営業係数(収支率)の推移 (収支率=費用÷収益×100) ※営業係数とは、100円の収入を得るために必要となる費用の比率です。



※ 道路料金収入には、マイレージ還元負担金収入等を含みます。
 ※ 係数毎に端数処理しているため、計において合致しないことがあります。
 ※ 増減率は端数処理後の値で算出しています。
 ※ 営業係数(収支率)計算上の費用は、事業資産管理費、一般管理費及び業務外費用で、収益は、業務収入及び業務外収入(償還準備金対象分)です。

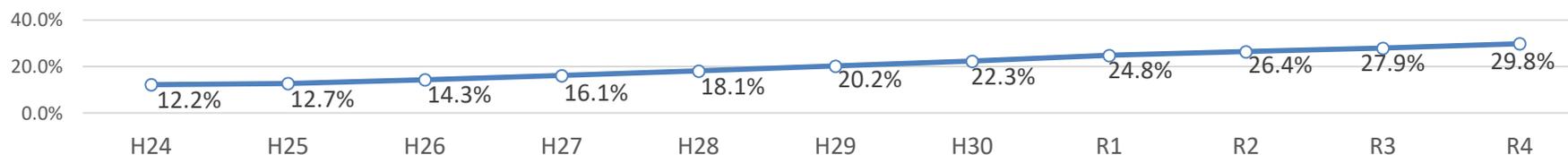
令和4事業年度 貸借対照表

(単位:百万円)

勘定科目	資 産			増減率 (%)
	金 額			
	令和4 事業年度	令和3 事業年度	差額	
流動資産	8,702	12,518	△3,816	△ 30.5
固定資産	402,962	400,168	2,794	0.7
道路	304,279	304,279	0	0.0
道路建設仮勘定	98,052	95,248	2,804	2.9
その他	631	641	△10	△ 1.6
繰延資産	451	435	16	3.7
資産合計	412,115	413,121	△1,006	0.2

勘定科目	負 債 及 び 資 本			増減率 (%)
	金 額			
	令和4 事業年度	令和3 事業年度	差額	
流動負債	22,974	26,723	△3,749	△ 14.0
固定負債	210,215	214,156	△3,941	△ 1.8
広島高速道路債券	149,300	144,000	5,300	3.7
地方公共団体借入金	29,224	33,354	△4,130	△ 12.4
政府借入金	30,239	34,812	△4,573	△ 13.1
民間借入金	1,123	1,630	△507	△ 31.1
その他	329	360	△31	△8.6
特別法上の引当金等	90,787	84,806	5,981	7.1
償還準備金	77,826	71,896	5,930	8.2
償還準備積立金	12,961	12,910	51	0.4
(負債合計)	323,976	325,685	△1,709	△0.5
基本金	88,005	87,302	703	0.8
剰余金	134	134	0	0.0
(資本合計)	88,139	87,436	703	0.8
負債・資本合計	412,115	413,121	△1,006	0.2

○償還率の推移 (償還率=特別法上の引当金等÷道路×100) ※償還率とは、道路の資産額に対する特別法上の引当金の割合です。



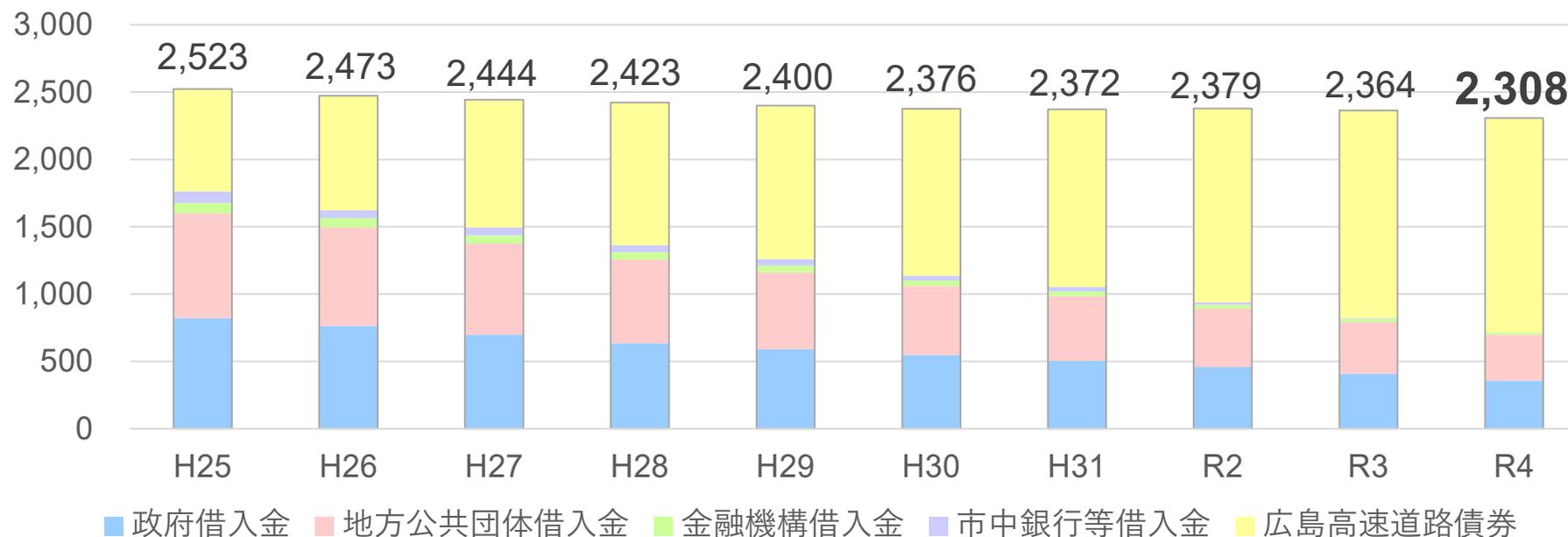
※ 係数毎に端数処理しているため、計において合致しないことがあります。
 ※ 増減率は端数処理後の値で算出しています。

借入金残高の推移

○令和4事業年度末の借入金残高

前年度末	令和4年度借入額	計	償還額	令和4年度末	前年度比
2,364億円	170億円	2,534億円	226億円	2,308億円	97.6%

(億円)



計画との比較

(単位:百万円)

区 分		収 益 (A)	費 用		償還準備金繰入 (A-B)	営業係数 (B/A*100)	
			(B)	管 理 費			借入利息等
令 和 4 事業年度	計画	13,988	4,956	4,326	630	9,032	35
	実績	12,301	6,371	5,434	937	5,930	52
累 計	計画	178,138	88,612	58,441	30,171	89,526	50
	実績	172,066	94,240	63,149	31,091	77,826	55
計 画 に 対 す る 実 績 の 比 率		96.6	106.4	108.1	103.0	86.9	—

- 計画は、整備計画(令和2年1月国土交通大臣許可)の数値です。
- 管理費は、事業資産管理費、一般管理費の合計です。
- 係数毎に端数処理しているため、計において合致しないことがあります。



令和4年度 キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	令和4年度 A	令和3年度 B	増減額 A-B		令和4年度 A	令和3年度 B	増減額 A-B
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
償還準備金繰入等	5,981	4,553	1,428	有価証券の取得による支出	—	—	—
減価償却費	45	48	△3	有価証券の売却による収入	—	—	—
賞与引当金の増減額	0	4	△4	事業資産の取得による支出	—	—	—
退職給付引当金の増減額	△1	21	△22	事業資産の売却による収入	—	—	—
E T Cマイレージ引当金の増減額	0	0	0	建設仮勘定の取得による支出	△4,097	△5,036	939
債券発行費等償却額	36	35	1	固定資産の取得による支出	△36	△16	△20
受取利息	—	—	—	固定資産の売却による収入	—	0	—
債券支払利息	505	504	1	投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,133	△5,053	920
借入金支払利息	393	472	△79				
未収金等の増減額	△50	166	△216	III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
棚卸資産の増減額	△561	△247	△314	短期借入による収入	—	—	—
未払金等の増減額	△816	△481	△335	短期借入の返済による支出	—	—	—
その他	2	2	0	長期借入による収入	1,691	1,618	73
小計	5,535	5,077	458	長期借入の返済による支出	△12,569	△13,214	645
利息の受取額	—	—	—	債券の発行による収入	15,300	21,000	△5,700
債券利息の支払額	△485	△503	18	債券の償還による支出	△10,000	△11,000	1,000
借入金利息の支払額	△399	△479	80	補助金の受入による収入	—	—	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,651	4,095	556	補助金の返還による支出	—	—	—
				出資金の受入による収入	703	675	28
				その他	△64	△89	25
				財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,940	△1,011	△3,929
				IV 現金及び現金同等物の増加額	△4,422	△1,968	△2,454
				V 現金及び現金同等物期首残高	9,704	11,672	△1,968
				VI 現金及び現金同等物期末残高	5,282	9,704	△4,422

